



科学部 米沢中央高等学校

主な活動

- ～最上川水系（本流、支流）の流量および水質の継続的調査。陸路からの定点調査だけではなく、最上川の源流から下流までを連続的に川の水を辿るような線あるいは面的な調査も実施している。
- ～最上川上流部の河川清掃を、ゴムボートにより水上から行っている。その際に船上から最上川の景観を調査するとともに、河川愛護も呼びかけている。
- ～県内各地の湖沼および地下水の水質調査。

- ・設立以来、東北地域の河川・湖沼・地下水など陸水の調査研究を行ってきた。測量や水温・水質に関する詳細な調査分析から水収支や各種化学成分の流量量なども明らかにしている。
- ・さらに大学などから持ち込まれた、中国・モンゴル・台湾・ネパールなどの海外の河川水、地下水も分析している。
- ・また、一方でゴムボートを活用しながら、県民の母なる川・最上川の河川清掃を年2回実施して9年になる。1回の清掃で大型ゴミ袋50～70個のゴミを回収してきた。
- ・来年度は、あと10名ほど部員が増えることを願っています。



よねぞわちゅうおうこうがっこう かがくぶ
設立年月：昭和四十四年四月 水質調査継続年数：八年
部員数：六名（渡部達也部長 顧問佐藤五郎教諭・松井祐太教諭）
継続調査地点：松川（海老ヶ沢大橋・住之江橋）、最上川（置賜橋）